



2023年度 第3四半期決算報告

2024年2月13日

日清食品ホールディングス株式会社

(証券コード：2897)

決算説明会開催日：2024年2月13日

本日のポイント

Point 1 : 3Q累計業績

- 売上収益は前期比 + 9.5%、既存事業コア営業利益は同 + 41.8%と、増収・増益を達成

Point 2 : 事業部門別動向

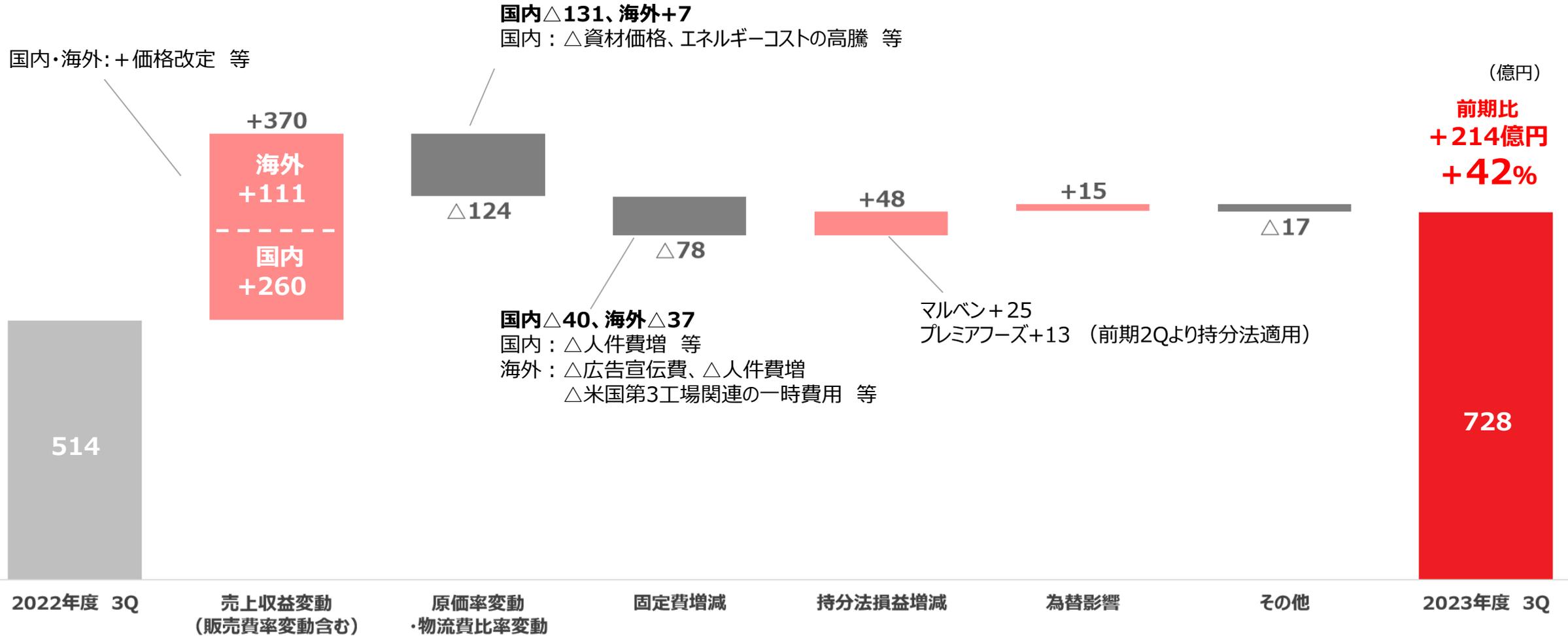
- **国内即席めん事業 : 増収・増益**
6月の価格改定後も、数量は前期比微減。商品ミックスの改善進み、修正計画インライン
- **国内非即席めん事業 : 増収・増益**
日清ヨーク : 7月の価格改定後も、数量は好調キープ、通期着地上振れへ
湖池屋 : 7月の価格改定後も、数量は右肩上がりの増加トレンド、通期業績予想を上方修正
- **海外事業 : 増収・増益**
米州・アジア・EMEAは引き続き増収増益。中国はマクロ環境逆風下、利益は前期水準超え
米国事業 : 3Q (3ヵ月) は数量増。市場ニーズにも柔軟に対応しつつ、プレミアム商品の強化継続

2023年度 3Q実績

2023年度3Q 連結決算サマリー

単位：億円	2023年度3Q 決算開示ベース			2023年度3Q 為替一定ベース		
	実績	前期比		実績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
売上収益	5,489	+ 475	+ 9.5%	5,366	+ 351	+ 7.0%
既存事業コア営業利益	728	+ 214	+ 41.8%	713	+ 200	+ 38.9%
営業利益	686	+ 199	+ 40.8%	671	+ 184	+ 37.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	491	+ 141	+ 40.5%	480	+ 130	+ 37.3%
既存事業コア営業利益率	13.3%	+ 3.0pt		13.3%	+ 3.0pt	
営業利益率	12.5%	+ 2.8pt		12.5%	+ 2.8pt	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益率	8.9%	+ 2.0pt		8.9%	+ 2.0pt	

既存事業コア営業利益の増減要因



* 細目は前期為替一定ベース

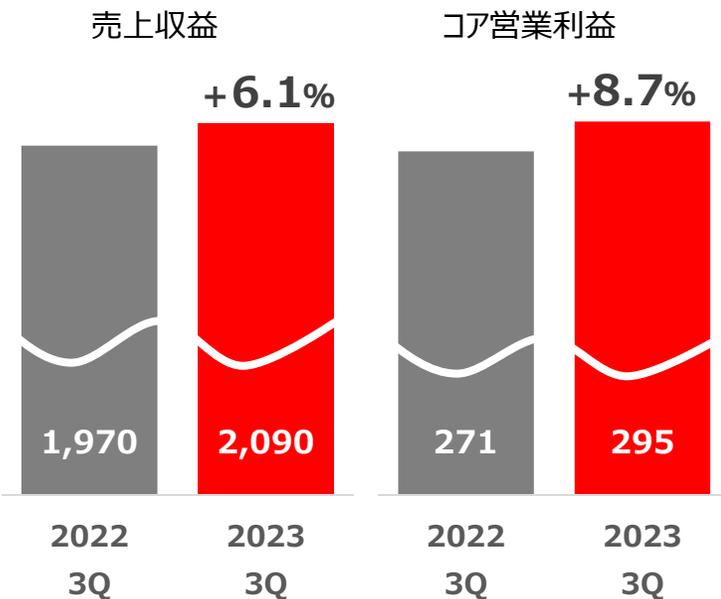
* 国内その他セグメント、その他連結調整及びグループ関連費用のコア営業利益増減は「その他」に含めて表示

セグメント別 決算サマリー

価格改定後も底堅い需要を取り込み、3事業すべて増収増益
 海外事業が全体の増益を牽引、飲料・菓子が引き続き好調な国内非即席めん事業も大幅増益

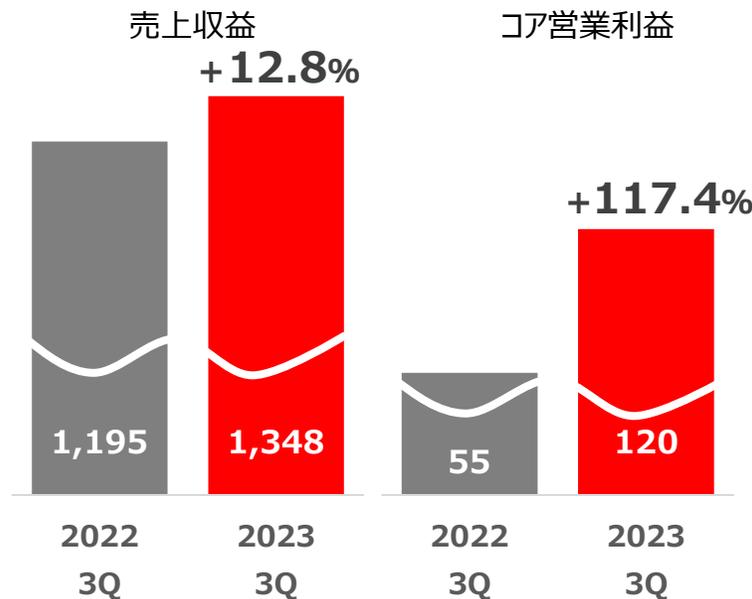
国内即席めん事業

価格改定、好調な高付加価値商品により日清食品・明星食品共に**増収**。資材価格上昇によるコスト増をカバーし**増益**



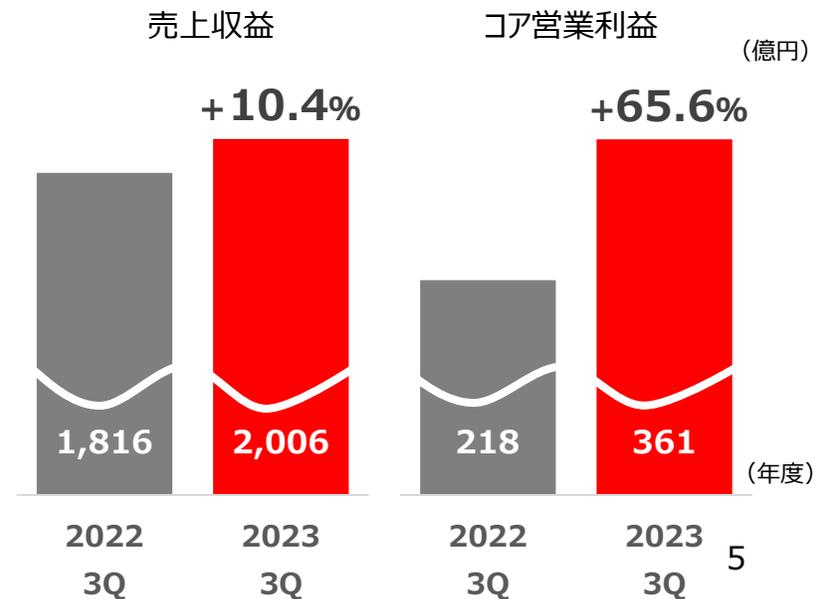
国内非即席めん事業

高付加価値商品の好調に加え、価格改定もあり、全事業で**増収増益**。日清ヨーク・湖池屋の増益が大きく貢献



海外事業

米国の価格改定効果、好調なアジア地域の貢献に加え、昨年2Qから持分法適用会社化したプレミアムフーズの影響もあり、大幅**増益**



セグメント別 売上収益実績

価格改定効果も加わり、連結全体で増収

単位：億円	2023年度3Q 決算開示ベース			2023年度3Q 為替一定ベース		
	業績	前期比		業績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	1,771	+ 101	+ 6.1%	1,771	+ 101	+ 6.1%
明星食品	319	+ 19	+ 6.4%	319	+ 19	+ 6.4%
国内即席めん事業	2,090	+ 121	+ 6.1%	2,090	+ 121	+ 6.1%
低温・飲料事業	715	+ 70	+ 10.9%	715	+ 70	+ 10.9%
菓子事業	633	+ 83	+ 15.1%	633	+ 83	+ 15.1%
国内非即席めん事業	1,348	+ 153	+ 12.8%	1,348	+ 153	+ 12.8%
国内その他	45	+ 11	+ 32.9%	45	+ 11	+ 32.9%
国内事業 計	3,484	+ 285	+ 8.9%	3,484	+ 285	+ 8.9%
米州地域	1,192	+ 144	+ 13.8%	1,102	+ 55	+ 5.2%
中国地域	488	△ 13	△ 2.6%	478	△ 24	△ 4.7%
アジア地域	156	+ 13	+ 8.7%	149	+ 5	+ 3.8%
EMEA地域	169	+ 46	+ 37.0%	153	+ 30	+ 24.0%
海外事業 計	2,006	+ 190	+ 10.4%	1,882	+ 66	+ 3.6%
連結 計	5,489	+ 475	+ 9.5%	5,366	+ 351	+ 7.0%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づく

* 「国内その他」には新規事業も含む

* 2023年度 1 Qより、ベトナム日清が中国地域セグメントに移管したため、前期の数字も遡及修正

セグメント別 コア営業利益実績

海外事業・日清ヨーク・湖池屋が引き続き全体を牽引し、連結全体で前期比約1.4倍の増益

単位：億円	2023年度3Q 決算開示ベース					2023年度3Q 為替一定ベース		
	営業利益	その他 収支	コア営業利益	前期比		コア営業利益	前期比	
				増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	272	1	271	+ 21	+ 8.6%	271	+ 21	+ 8.6%
明星食品	24	1	23	+ 2	+ 9.6%	23	+ 2	+ 9.6%
国内即席めん事業	296	1	295	+ 24	+ 8.7%	295	+ 24	+ 8.7%
低温・飲料事業	73	1	73	+ 39	+ 117.8%	73	+ 39	+ 117.8%
菓子事業	46	△ 1	47	+ 26	+ 116.9%	47	+ 26	+ 116.9%
国内非即席めん事業	119	△ 1	120	+ 65	+ 117.4%	120	+ 65	+ 117.4%
国内その他	12	0	12	△ 4	△ 26.4%	12	△ 4	△ 26.4%
国内事業 計	428	1	427	+ 84	+ 24.5%	427	+ 84	+ 24.5%
米州地域	181	0	181	+ 85	+ 89.0%	169	+ 73	+ 76.4%
中国地域	54	0	54	+ 0	+ 0.3%	53	△ 1	△ 0.9%
アジア地域	53	△ 0	53	+ 20	+ 61.1%	50	+ 17	+ 50.9%
EMEA地域	71	△ 2	73	+ 37	+ 104.2%	74	+ 39	+ 107.5%
海外事業 計	359	△ 2	361	+ 143	+ 65.6%	346	+ 128	+ 58.7%
国内・海外事業 計	787	△ 1	788	+ 227	+ 40.5%	773	+ 212	+ 37.8%
その他連結調整	△ 4	△ 3	△ 1	+ 0	-	△ 1	+ 0	-
グループ関連費用	△ 59	-	△ 59	△ 13	-	△ 59	△ 13	-
既存事業 計	724	△ 4	728	+ 214	+ 41.8%	713	+ 200	+ 38.9%
新規事業	△ 39	0	△ 39	△ 11	-	△ 39	△ 11	-
連結 計	686	△ 3	689	+ 203	+ 41.8%	674	+ 188	+ 38.7%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づく

* 2023年度 1 Qより、ベトナム日清が中国地域セグメントに移管したため、前期の数字も遡及修正

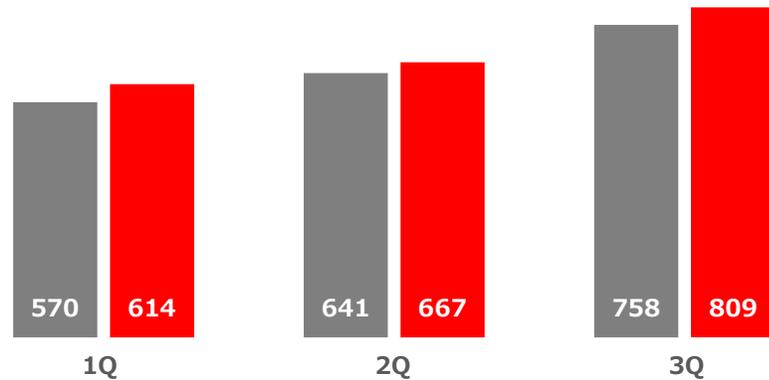
事業の状況

国内即席めん事業

主力商品を中心とした拡販に加え、価格改定も奏功し、資材価格上昇するも増収増益

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期



日清食品 (3Q累計 +6%)

カップめん：新商品「カップヌードル具材まみれ」シリーズなど、お客さまニーズを捉えた商品が貢献

袋めん：「チキンラーメン」などのロングセラー商品が好調

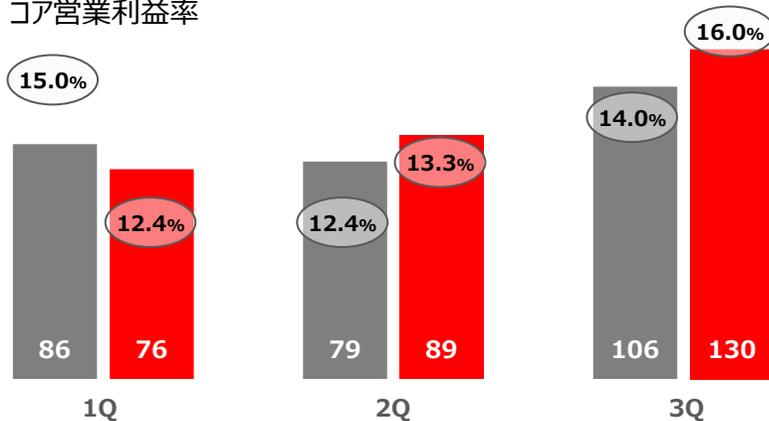
明星食品 (3Q累計 +6%)

カップめん：「ロカボNOODLESおいしさプラス」、「一平ちゃん夜店の焼そば」などが貢献

袋めん：「チャルメラ」が好調

コア営業利益 (億円)

%：コア営業利益率



日清食品 (3Q累計 +9%)

+) 売上増加による利益増

△) 資材価格上昇、広告宣伝費の増加等

明星食品 (3Q累計 +10%)

+) 売上増加による利益増

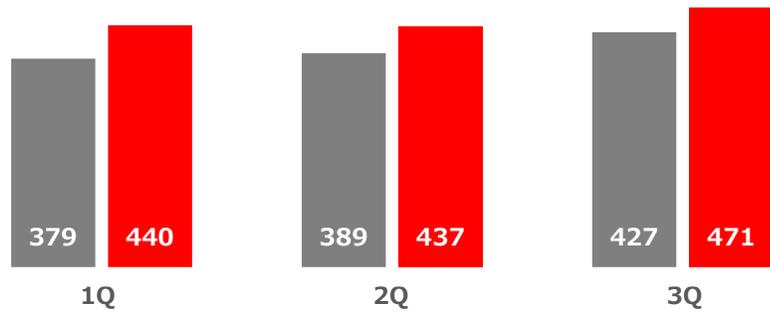
△) 資材価格上昇、広告宣伝費の増加等

国内非即席めん事業

乳酸菌飲料「ピルクル」シリーズ、「十勝のむヨーグルト」が好調であった日清ヨーク、主力商品が引き続き好調であった湖池屋が貢献し、増収増益

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期



チルド (3Q累計 +6%) : パスタ、焼そば、夏場の冷し中華の好調に加え、賞味期限を40日から60日へ延長し、リニューアルした「行列のできる店のラーメン」が堅調に推移

冷凍 (3Q累計 +4%) : 「冷凍 日清中華」、「冷凍 日清まぜ麺亭」などラーメン、うどんが好調

ヨーク (3Q累計+35%) : 「ピルクル400」、「ピルクル ミラクルケア」好調、「十勝のむヨーグルト」伸長

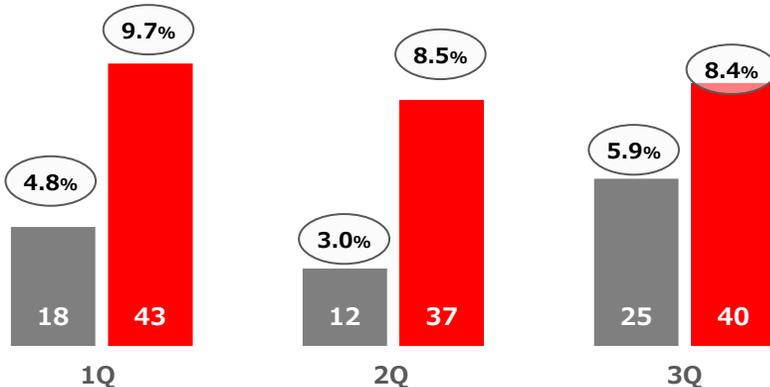
シスコ (3Q累計 +4%) : 「シスコーン」シリーズ、「ココナッツサブレ」シリーズが堅調に推移

ぼんち (3Q累計 +0%) : 前年を僅かに上回り着地

湖池屋 (3Q累計+24%) : 「湖池屋ポテトチップス」シリーズ、「スコーン」シリーズなど主力商品を中心に販売が拡大

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



チルド 3Q累計 増益 : 資材価格上昇も売上増加および価格改定効果により増益

冷凍 3Q累計 増益 : 資材価格上昇も売上増加および価格改定効果により増益

ヨーク 3Q累計 増益 : 資材価格上昇も売上増加および価格改定効果により増益

シスコ 3Q累計 増益 : 価格改定効果等により増益

ぼんち 3Q累計 減益 : 資材価格上昇等により減益

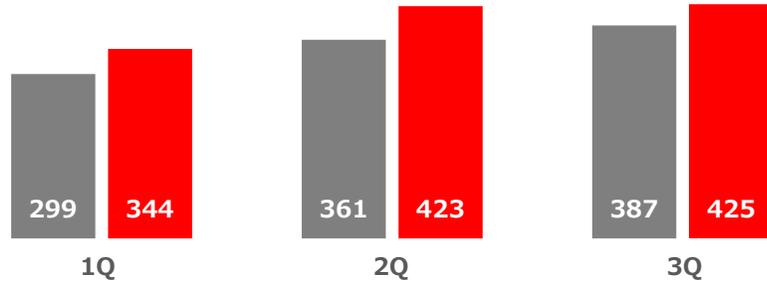
湖池屋 3Q累計 増益 : 販売拡大および価格改定効果により増益

米州地域

高付加価値商品の提案強化・導入推進に加えて、価格改定効果により、3Q累計で増収増益

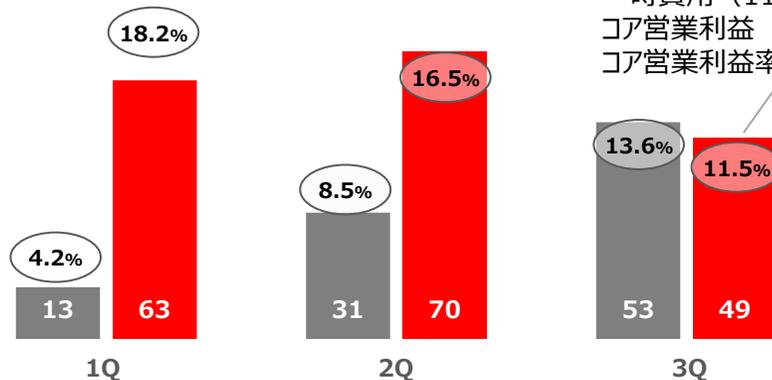
売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期



コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



一時費用 (11億円) 除き
コア営業利益 : 60億円
コア営業利益率 : 14.1%

米国 : 高付加価値商品の販売強化、価格改定効果により3Q累計で増収 (為替影響 +31億円)
メキシコ : 数量増、価格改定効果により増収 (為替影響 +25億円)
ブラジル : 一時的な生産設備メンテナンス等による販売数量減も価格改定効果および為替影響により増収 (為替影響 +34億円)

	10-12月 前期比		3Q累計 前期比	
	売上収益 (前期為替一定ベース)	数量	売上収益 (前期為替一定ベース)	数量*
米国	△1%	+1桁前半%	+8%	△1桁前半%
メキシコ	+19%	+2桁前半%	+20%	+2桁前半%
ブラジル	+2%	△1桁後半%	△4%	△2桁前半%

米国 : 3Q累計 増益
3Qに第3工場建設関連等の一時費用 (11億円) が発生、マーケティング費用が増加するも、価格改定効果により3Q累計で増益 (為替影響 +6億円)
メキシコ : 3Q累計 増益
販売数量増及び価格改定により資材価格上昇を吸収し、増益 (為替影響 +3億円)
ブラジル : 3Q累計 減益
販売数量減に伴い減益 (為替影響 +3億円)

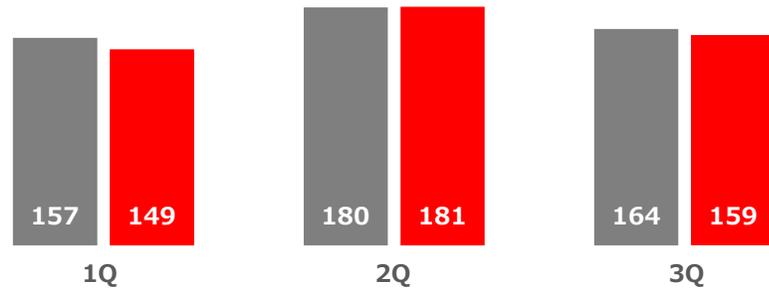
* 米国の売上収益の増減は、米国日清、明星USAの合計
 * 数量は管理ベースで記載

中国地域

原材料価格低下を主因に、コア営業利益は3Q累計では前年同期を上回る

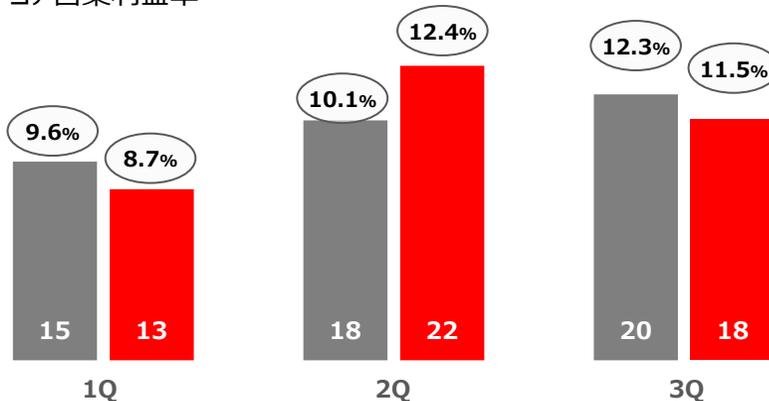
売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期



コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



香港他 : 袋めんの販売数量減により減収 (為替影響 +9億円)

大陸 : 販売数量減に伴い減収 (為替影響 +2億円)
主力のカップめんの販売数量は新規開拓もあり改善

3Q累計 前期比

	売上収益 (前期為替一定ベース)	数量*
香港他	△9%	△1桁後半%
大陸	△2%	△1桁前半%

香港他 : 3Q累計 減益

販売数量減により減益 (為替影響 +0億円)

大陸 : 3Q累計 増益

カップめんの販売数量の改善と原材料コスト減に伴い増益 (為替影響 +0億円)

* 数量は香港・大陸の管理ベースで記載

** 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づくもの

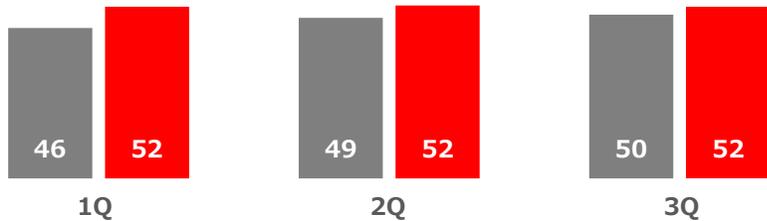
*** 2023年度1Qより、ベトナム日清が中国地域セグメントに移管したため、前期の数字も遡及修正

アジア地域

各国の価格改定および資材価格の低下によりタイを中心に全地域で増益

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期

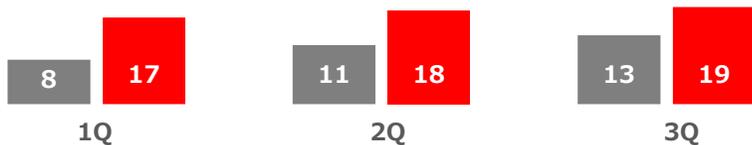


売上額が多い順

- タイ : 3Q累計 増収 (為替影響 +3億円)
- インド : 3Q累計 増収 (為替影響 +0.6億円)
- シンガポール : 3Q累計 増収 (為替影響 +2億円)
- インドネシア : 3Q累計 減収 (為替影響 +0.7億円)

コア営業利益 (億円)

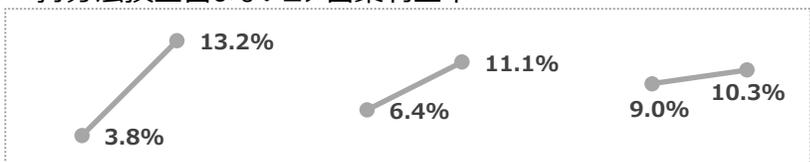
% : コア営業利益率



利益額が多い順 (持分法適用会社除く)

- タイ : 3Q累計 増益 (為替影響 +0.7億円)
- シンガポール : 3Q累計 増益 (為替影響 +0.4億円)
- インドネシア : 3Q累計 増益 (為替影響 +0.1億円)
- インド : 3Q累計 黒字転換 (為替影響 +0.0億円)

* 持分法損益含まないコア営業利益率



持分法による投資損益

- タイプレ : 3Q累計 22億円 (前期比:+8億円 (為替影響 +1.7億円))
- NURC : 3Q累計 13億円 (前期比:+4億円 (為替影響 +0.5億円))

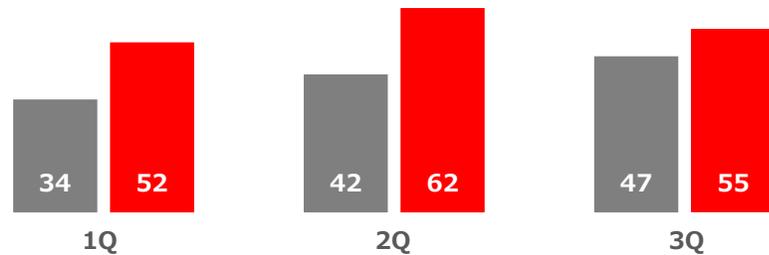
* 2023年度 1Qより、ベトナム日清が中国地域セグメントに移管したため、前期の数字も遡及修正

EMEA地域

成長著しい即席めん市場において、増収トレンド継続

売上収益 (億円)

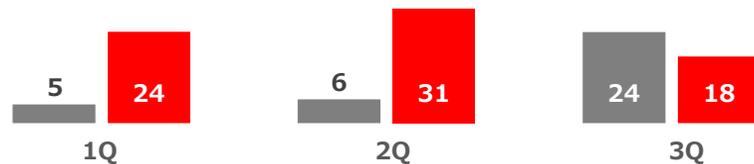
■ 前期 ■ 当期



- 「CUP NOODLES」、「Soba」、「Demae Ramen」ブランドが引き続き好調に推移
- イギリス、ドイツ、フランスを中心に増収 (為替影響 +16億円)

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



欧州 : 3Q累計 増益

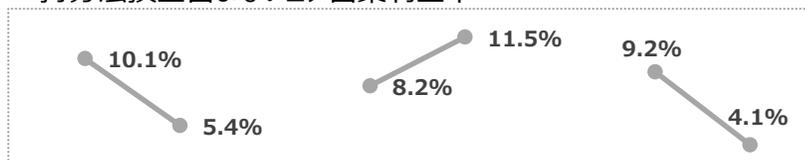
売上増により増益(為替影響 + 1 億円)

持分法による投資損益

マルベン : 3Q累計 31億円 (前期比:+22億円 (為替影響△4億円))

プレミアフーズ : 3Q累計 29億円 (前期比:+15億円 (為替影響 +2億円))

* 持分法損益含まないコア営業利益率



* プレミアフーズは2022年度2Qより持分法損益を計上
 FY2022 1Q - 2Q 5億円
 FY2023 1Q 10億円 2Q 13億円

米州地域における新工場について

各国での即席めん市場の旺盛な需要に対応すべく生産能力を増強、既存工場とも連携し生産・配送効率を高め、さらなる収益改善・拡大を目指す

米国日清新工場 ～グリーンビル工場～

- 高付加価値製品のラインナップ拡充、生産・配送効率改善に向けて
2025年8月より稼働予定



外観イメージ



- ✓ 敷地面積 206,390㎡
- ✓ 工場延床面積 59,517㎡
- ✓ 投資金額 約228百万ドル (約342億円※)

*1米ドル=150円として算出

ブラジル日清新工場 ～ポンタグロッサ工場～

- ブラジル全土への安定供給、輸出用製品や即席めん以外のカテゴリも含めた製品ラインアップの拡充に向けて**2026年3月より稼働予定**



外観イメージ



- ✓ 敷地面積 413,223㎡
- ✓ 工場延床面積 68,236㎡
- ✓ 投資金額 約1,051百万リアル (約315億円※)

*1ブラジルリアル=30円として算出

Appendix

米州地域および海外地域全体の売上収益・数量 前期比

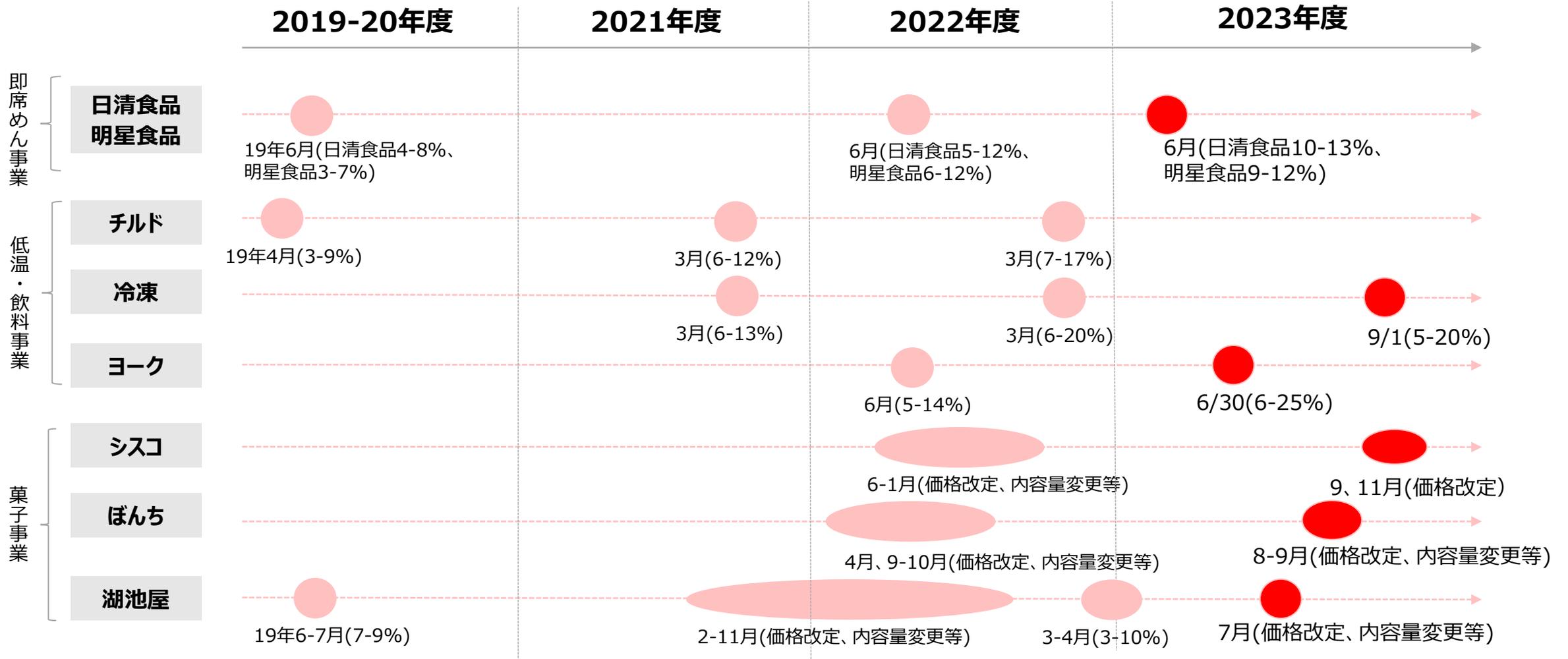
	2022年度				2023年度				売上収益 前期為替一定 ベース	数量
	10-12月		1-3月		4-6月		7-9月			
	売上収益 前期為替一定 ベース	数量	売上収益 前期為替一定 ベース	数量	売上収益 前期為替一定 ベース	数量	売上収益 前期為替一定 ベース	数量		
米国	+ 59%	+ 1桁前半%	+ 37%	△1桁前半%	+ 27%	△1桁後半%	+ 5%	△1桁前半%	△1%	+ 1桁前半%
メキシコ	+ 34%	+ 1桁前半%	+ 21%	△1桁前半%	+ 13%	+ 1桁前半%	+ 29%	+ 2桁前半%	+ 19%	+ 2桁前半%
ブラジル	+ 18%	△1桁前半%	+ 21%	△1桁前半%	△19%	△2桁前半%	+ 5%	△1桁前半%	+ 2%	△1桁後半%
海外全体	+ 25%	+ 1桁前半%	+ 20%	△1桁前半%	+ 5%	△2桁前半%	+ 6%	△1桁前半%	△0%	△1桁前半%

2023年度 10-12月 前年比 参考情報

	売上収益 前期為替一定ベース	数量
米州地域	+ 1.7%	△1桁前半%
中国地域	△6.4%	△1桁前半%
その他海外地域 計	+ 2.6%	△1桁後半%

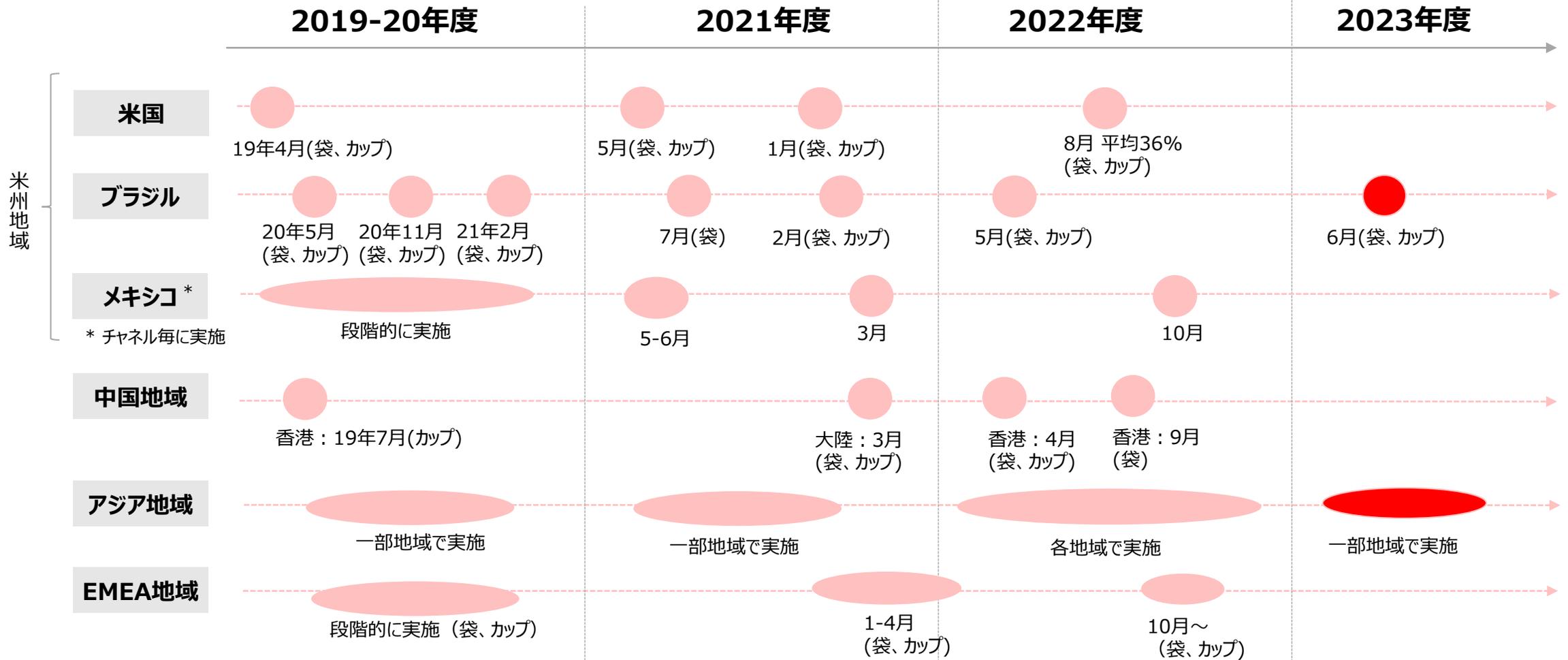
* 数量は管理ベースで記載
* 米国の売上収益の増減は、米国日清、明星USAの合計

主な価格改定推移 (国内)



*()内は改定率
*2024年1月時点

主な価格改定推移 (海外)



*2024年1月時点

2023年度通期連結業績予想の修正

単位：億円	通期修正予想（2023年11月9日発表）				
	2023年度 予想	vs.期初予想		vs.前期	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	7,200	+ 100	+ 1.4%	+ 508	+ 7.6%
既存事業コア営業利益	800	+ 160	+ 25.0%	+ 198	+ 32.9%
営業利益	735 ～ 765	+ 160	+ 26.4% ～ + 27.8%	+ 179 ～ + 209	+ 32.1% + 37.5%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	535 ～ 555	+ 110	+ 24.7% ～ + 25.9%	+ 87 ～ + 107	+ 19.5% + 24.0%
既存事業コア営業利益率	11.1%	+ 2.1pt		+ 2.1pt	
営業利益率	10.2% ～ 10.6%	+ 2.1pt		+ 1.9pt ～ + 2.3pt	
親会社の所有者に帰属する 当期利益率	7.4% ～ 7.7%	+ 1.4pt		+ 0.7pt ～ + 1.0pt	

2023年度通期連結業績予想の修正 3事業別

単位：億円	通期修正予想（2023年11月9日発表）				
	2023年度 予想	vs.期初予想		vs.前期	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	7,200	+ 100	+ 1.4%	+ 508	+ 7.6%
うち国内即席めん事業	2,730	± 0	± 0.0%	+ 123	+ 4.7%
うち国内非即席めん事業	1,720	+ 45	+ 2.7%	+ 111	+ 6.9%
うち海外事業	2,680	+ 55	+ 2.1%	+ 250	+ 10.3%
既存事業コア営業利益	800	+ 160	+ 25.0%	+ 198	+ 32.9%
うち国内即席めん事業	320	+ 15	+ 4.9%	+ 31	+ 10.9%
うち国内非即席めん事業	118	+ 45	+ 61.6%	+ 50	+ 74.4%
うち海外事業	429	+ 100	+ 30.4%	+ 131	+ 44.2%

本資料に掲載しております当社グループの計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場的大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきください。

また、本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさっていただきますようお願い申し上げます。

- このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ウェブサイト「決算短信・補足資料・決算説明会関連資料」に掲載しています
<https://www.nissin.com/jp/ir/library/>
- この資料の金額は、千円単位で算出し、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が一致しない場合があります
- 当該資料の決算期は原則として、20YY年4月1日～20YY年3月31日を「20YY年度」または「YY年度」とします
- 中国地域の実績は、日清食品ホールディングス連結の方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります。また、中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績予想は日清食品ホールディングスが独自に設定したものです



日清食品ホールディングス株式会社